

2025
Japan Singing Festival
in KOBE・HYOGO



「山と海から、未来につなげよう! 希望の歌」
2025日本のうたごえ祭典 in 神戸・ひょうご

2025年日本のうたごえ

A コース 和太鼓(長胴・附締)

塩原良

西日本郷土講習会

2025 日本のうたごえ祭典 in 神戸・ひょうご 全国郷土合同演目

日本満開だんじり囃子

B コース 民舞

萬祭宮入り踊り

日時／4月19日(土)13:00～20日(日)14:30

会場／こうべ輪太鼓センター会館

(JR 兵庫駅から南に徒歩 8 分)



真木多香美

主催／日本のうたごえ全国協議会

〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-16-36 TEL 03-3200-0106 FAX 03-3200-0193

協力／兵庫のうたごえ協議会

〒652-0882 神戸市兵庫区芦原通 2-1-23 神戸市役所センター合唱団内

事務局／こうべ輪太鼓センター

〒652-0882 神戸市兵庫区芦原通 2-1-23 こうべ輪太鼓センター会館
TEL 078-685-3535 FAX 078-685-3536 e-mail:kobe@wadaiko-center.com

◇参加申し込み方法◇

◆募集定員 (全体 50～70名)

- A** 日本満開だんじり囃子◆中(長胴)太鼓(7割)・締太鼓(3割)コース：30～40名
B 民舞・萬祭宮入り踊り(お囃子CDは当日会場で販売・要事前申し込み)：20～30名

※会場の関係等で定員が一部変更になる場合があります。

◆受講料

	一般	協議会加盟	中・高校生	小学生
受講料 (円)	13,000	12,000	9,000	8,000

*1日参加の場合は、一般9,000円、加盟8,000円、中・高校生6,000円、小学生5,000円

*宿泊希望の場合は事務局まで早めに申し出て下さい。(実費)

◆申し込み

- ①下記の申込用紙に必要事項を記入して郵送又はFAX等で講習会事務局までお申し込みください。
 ※必要事項がわかれば、所定の申込用紙以外、メールでもOKです。
- ②入金方法：申し込み後、1週間以内に受講料を次の口座にお振込みください。ご入金確認次第正式受付とさせていただきます。
 ◇銀行振込 三井住友銀行三宮支店 7634323 こうべ輪太鼓センター
 ◇郵便振替 01120-2-85567 こうべ輪太鼓センター
- ③申し込み締め切り：第1次3/22(土)、第2次4/5(土)、最終4/14(月)事務局到着分までを基本。
 ※ただし定員になり次第、または会場の関係で第2次以降は締め切らせていただく場合があります。
 ※宿泊を伴う場合は各自で確保をお願いいたします

◆諸注意

- ①持 ち 物：運動のできる服装と上履きをご用意ください。(更衣室をご利用いただけます。
 レンタル用のバチはありません。斡旋希望者は事前に事務局までお申し込み下さい。
 民舞講習会用の囃子CD、その他バチ、足袋等は当日会場で販売しています。
- ②そ の 他：会館には駐車場が8～9台分ありますが、予約はできません。(駐車料金不要)



▲JR 兵庫駅より南に徒歩 8 分

■申込み先／**こうべ輪太鼓センター** 〒652-0882 神戸市兵庫区芦原通 2-1-23 TEL 078-685-3535 FAX 078-685-3536
 e-mail:kobe@wadaiko-center.com http://www.wadaiko-center.com /
 キリトリ線

2025 年『西日本郷土講習会』参加申込書

申 込 書	●氏名 (ふりがな)	●住所〒		●TEL	
	●年齢 男・女			●FAX	
	●受講希望コース (○で囲んでください)			●携帯	
	A (中・締) B	購入希望 ●バチ _____ 組 ●踊りCD _____ 枚	●和太鼓・民舞経験 有(年)・無	●宿泊 要・不要	●申込日 年 月 日 ●受付日 年 月 日

講習専科



コースA (中太鼓・締太鼓)

—初心者・経験者—

和太鼓・日本満開だんじり囃子

講師 塩原良

「日本満開だんじり囃子」は、阪神・淡路大震災から30年を迎える兵庫県神戸市で開催される「2025日本のうたごえ祭典in神戸・ひょうご」の合同演奏曲として創作された和太鼓曲です。兵庫県芦屋市に伝わるだんじり囃子のリズムや神戸市兵庫区、和田神社のだんじり踊りを取り入れ、祭りの力で日本の明るい未来を表現することを目指しています。この曲は、魂のこもる舞台芸能の土台を作ったに過ぎません。まずは、この祭典で大輪の花をさかせ、参加者の皆さんがこの曲を自分たちのものとして各地で打ち囃し、日本の明日に満開の花が咲くよう共に作り上げていくことを願っています。



コースB (民舞)

—民舞初心者・経験者—

萬祭(ばんざい)宮入り踊り

講師 真木多香美



兵庫県各地で、今も地域の絆や、そこに暮らす人たちの人情を支えながら続けられているだんじり祭り。「とーばっせ！とばせ！」のかけ声高らかに、だんじりが各氏神を祭る神社へ入っていく場面を宮入りと言いますが、そこから、五穀豊穡、商売繁盛、家内安全の祈願を込め、それを感謝し、囃子にのって老若男女、華やかに踊れる踊りが欲しい!!そんな思いから再創作したのが【萬祭宮入り踊り】です。両手に短い御幣を持ち、跳ね調子にのって祝い心を踊ります。簡単で、楽で、カッコイイ!!そんな都合の良さから考えだしました。御幣は、神々への贈り物を象徴しています。祈りから感謝への祝い踊りとして、様々なお愛でたい場面で踊っていただけると幸いです。

《講習会スケジュール》

1日目・4/19(土)

12:30 受付開始
 13:00 開講・全体会
 13:30 コース別講習Ⅰ
 17:00 講習会終了
 18:00 被災地支援
 「和太鼓と民舞のつどい」
 で交流(講習会参加者は無料)
 20:00 終了～自主交流

2日目・4/20(日)

9:30 コース別講習Ⅱ
 12:15 昼食
 13:00 コース別講習Ⅲ
 14:00 全体会、成果発表
 14:30 閉会

吟遊打人

塩原良 profile 和太鼓・日本満開だんじり囃子



1983年から1年、映画監督、今村昌平氏のもとで助監督を務めた後、監督の勧めを受けて84年長野県伊那市の歌舞劇団田楽座へ演技者として入座。13年間、全国巡業の旅と民俗芸能の取材から舞台芸能への再創作に携わる。97年、田楽座創立30周年作品「座・満開むら祭り」の作・演出・主演を機に退座、独立。98年に吟遊打人を表明し、単独の活動をスタートする。98年～2000年まで、創作和太鼓集団「むげん隼」所属。小松市の全国コンテストで団体優勝を経験。2004年、台湾台北市の國父紀念館にて、李登輝氏を前に、宝塚OG・但馬久美さんらと共演。そのことをきっかけに、05年～現在まで台湾のプロ技芸団・台北慶和館と深く交流する。01年～09年、和太鼓アーティスト・加藤拓三のプロデュースによりアメリカのスクールビジット公演を行う。07年、山本寛斎氏プロデュース「KANSAI SUPER SHOW 太陽の舟」東京ドームイベントに350人の太鼓隊の中、塩原組のリーダーを務める。また同年、第6回東京国際和太鼓コンテスト大太鼓の部にて、最優秀賞受賞。16年、スウェーデンストックホルムの太鼓団体から芸能としての和太鼓の指導を依頼され、定期指導に。18年から20年、芸歴35周年記念コンサート「明日へのバトン」を各地で開催。指導下の若手を起用する機会として活用し、広く実践の場を提供する。その期間に、飯田市に社会教育団体「和太鼓仲間南信州」を組織し、「杜の学校」「座・獅子乃翼 THE SIMBA」をその基軸として和太鼓普及活動に拍車をかける。21年、大韓民国国家無形文化財第39号處容舞履修者・韓国舞踊家・金一志氏と韓日平和コンサート・名古屋能楽堂にて共演。

太鼓衆団輪田鼓座長

真木多香美 profile 民舞・萬祭宮入り踊り

3歳より日本舞踊を母花柳芳利喜に習う。6歳で母の師匠でもある花柳和泉に師事。

16歳で花柳流名取「花柳宗信」を取得。21歳で花柳流師範免許取得。

現在太鼓衆団輪田鼓に所属。座長としてメンバー指導のかたわら、太鼓研修生、太鼓教室「輪楽鼓」ならびに民舞風の輪の翠と紅の2教室でそれぞれ講師を務めている。

輪田鼓酒蔵公演にて「三番叟」、輪田鼓「真田十勇士」公演では、佐助と弁慶を作舞、メンバー阪口と共に演じる。また、これまで振付した民舞作品に、「こきりこ」、「はんや節」、「土蜘蛛の舞」等がある。



被災地支援

※講習会参加チームまたは個人での出場者募集しています

和太鼓・民舞交流コンサート&うたう会

4/19(土) 18:00 ~ 20:00
 こうべ輪太鼓センター会館
 (神戸市兵庫区芦原通2-1-23)

太鼓衆団輪田鼓(和太鼓)



民舞風の輪

